

## 一般社団法人静岡県信用金庫協会

## 第68回県内信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 田形 和幸）は、平成17年(2005年)10月以降、県内信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,200社にアンケート調査を実施し、1,199社から得た回答（有効回答99.9%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

## 「県内中小企業等の景況感DIはやや改善」

## 【概況】

2023年7~9月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（2023年4月～6月「以下同じ」）の▲13.2から▲10.9と2.3ポイントのやや改善となった。

業種別にみると、卸売業（前回調査▲11.3→今回調査▲18.9）、不動産業（0.0→▲3.7）は悪化、製造業（▲12.3→▲12.9）はほぼ横ばいであったものの、サービス業（▲11.5→▲0.9）、小売業（▲28.7→▲18.4）、建設業（▲11.0→▲1.8）は改善した。

これを地区別の業況DIでみると、東部、中部、西部地区ともにやや改善した（地区別の詳細は次頁のとおり）。なお、各地区とも、仕入価格や原材料価格の高騰が続いていることや、人手不足を経営課題として掲げている。

## 県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

	2021年		2022年				2023年			
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12 (見通し)
東部地区	▲32.7	▲25.1	▲35.9	▲26.4	▲19.6	▲14.1	▲18.9	▲17.6	▲16.0	▲14.9
中部地区	▲40.8	▲13.6	▲25.8	▲27.0	▲25.6	▲12.5	▲9.4	▲9.8	▲7.3	▲8.8
西部地区	▲25.9	▲21.3	▲27.5	▲23.7	▲19.1	▲10.9	▲18.7	▲11.8	▲9.0	▲5.7
県内計	▲30.2	▲21.3	▲29.9	▲25.0	▲20.3	▲12.1	▲17.3	▲13.2	▲10.9	▲9.0

2023年10~12月の業況見通しは、東部、西部はやや改善、中部はやや悪化としていることから、県全体で、やや改善の予想となっている。

## ■東部

東部では、卸売業が▲22.5 ポイント(▲8.1⇒▲30.6)、建設業が▲3.2 ポイント(▲6.8⇒▲10.0)と悪化したものの、製造業が0.2 ポイント(▲20.2⇒▲20.0)とほぼ横ばい、サービス業 12.4 ポイント(▲22.4⇒▲10.0)、小売業が10.7 ポイント(▲30.9⇒▲20.2)、不動産業が2.9 ポイント(0.0⇒2.9)と改善したことから、全産業ベースの業況DIは、前回調査時の▲17.6 から▲16.0 へ1.6 ポイントのやや改善となった。

### 製造業

業況は、原材料価格の高騰の影響は受けているものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い受注が回復傾向にあることから、ほぼ横ばいとなっている。

今後の見通し(2023年10~12月期・以下同じ)としては、原材料価格の高騰は当面続くものと予想されるものの、売上や受注の増加から、業況は改善を見込んでいる。

#### (事業者の声)

- ・EV化、自動車向け関係の受注好調。 (産業用工作機械等設計加工)
- ・国内のみならず国外からも受注依頼があり、顧客ニーズに応えられるよう設備の更新、入替を検討している。 (自動車関連部品製造業)
- ・インバウンドの回復を背景に、業務用家庭紙の受注は増加している。 (製紙・紙加工業)
- ・人件費、原材料の高騰による収益への影響が懸念される。自動車関連の受注が伸びておらず、新型コロナウイルス感染症の5類移行後の波及効果が広まっていない状況である。 (自動車部品製造業)

### 卸売業

業況は、仕入価格の上昇を販売価格に転嫁しきれず、大幅に悪化している。

今後の見通しとしては、値上げ交渉の段階的な実施や経費削減努力等により、業況は改善を見込んでいる。

#### (事業者の声)

- ・仕入単価が上昇し、利益が減少傾向である。事業承継までに財務内容及び会社体制を万全に整えたい。(紙卸売業)
- ・原油価格の高騰に伴い、セメント・ブロック等の値上げを実施。材料価格は落ち着いたが、輸送コストがかかり、影響が出ている。 (石・セメント・ブロック)
- ・ペーパーレス化の進展で古紙自体が減少している。 (製紙原料卸売業)
- ・競合他社での発注が増加する一方で、中小企業や小規模企業の受注需要は減少傾向にある。新規取引先獲得も必要だが、仕入れ値の高騰や販売価格の値上げ交渉も今後の課題となる。 (文具・トナーの卸売)

### 小売業

業況は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、売上が回復傾向にあることから、改善している。

今後の見通しとしては、仕入価格の高騰が懸念されるものの、年末商戦に向けた売上回復への期待から、業況は横ばいを見込んでいる。

#### (事業者の声)

- ・顧客の年代層に適した方法でそれぞれDM発信しており、売上が徐々に増加し始めている。 (和菓子)
- ・仕入先からの値上要請に伴い、仕入価格が上昇しているが、商品への価格転嫁も上手く行えている。イベントなどの出店も増えており、売上、収益は増加傾向にある。 (漬物小売業)
- ・大手スーパーの競合が今後も課題。固定客の確保、新規顧客を増やすことで解決へと繋げる。 (漬物・佃煮販売)
- ・観光関連の需要も徐々に回復傾向にあるが、売上の減少への影響を考えると仕入価格の上昇分を少しづつしか販売価格に転嫁できていない。 (食料品、日用品小売業)

### サービス業

業況は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、人出が増えたことから、改善している。

今後の見通しとしては、売上の停滞が続き、食材や燃料費の高騰分を価格転嫁することが困難であるとして、業況は大幅な悪化を見込んでいる。

#### (事業者の声)

- ・客足増加につき、売上、収益ともに増加。繁忙期の人手不足が課題。 (宿泊、飲食)

- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行後、一般企業の動きが活発化してきており、売上は安定しているが、今後、増加傾向にある人件費を含む一般管理費の削減が課題。 (清掃用品リース業)
- ・自動車ユーザーの高齢化が進み、市場は縮小傾向にある。スキャンツール等の新技術への対応が今後のカギとなる。 (自動車整備業)
- ・女性職員が多く、産休が相次ぐなど人手不足である。レジや受付の機械化を図り業務の効率を改善していきたい。 (獣医業)

### 建設業

業況は、依然として原材料価格や工賃の高騰が受注減少に繋がっていることから、悪化している。  
今後の見通しは、工事の大規模受注や改良修繕工事の受注で売上の増加が期待されることから、業況は改善を見込んでいる。

#### (事業者の声)

- ・建築資材の高騰を価格転嫁できていない。 (建築・不動産売買)
- ・人材不足は長期課題であり、人材不足の解消には時間を要す。仕事量の波が酷く、現場に出る従業員にとっては体力的に負担となる。 (土木工事全般)
- ・同業者間での競争が激化しており、市場規模が縮小している印象を受ける。 (総合建設業)
- ・公共工事はある程度安定してきているが、建築資材の高騰が続くなか、民間工事はますます価格競争が激化している。 (総合建設業)

### 不動産業

業況は、県外からの住宅相談や、積極的な営業活動が功を奏したことなどから、改善しプラス水準である。  
今後の見通しとしては、商品物件の流通による売上、収益の増加から、業況は改善し、引き続きプラス水準を見込んでいる。

#### (事業者の声)

- ・中古住宅をリノベーションすることで付加価値を付け販売する動きが目立っている。 (不動産売買業・仲介業)
- ・永年の事業実績から、立地条件良好な素地を積極的に仕入れている。 (土地販売業)
- ・物価高騰に伴い、不動産の購入価格も上がっているのに対し、消費者の賃金が上がってないため、住宅購入に慎重になっている。 (不動産仲介)
- ・盛り土規制の強化などの影響により宅地造成に係る用地取得から販売までの期間が長期化している。 (不動産売買・仲介・賃貸)

### ■中部地区

中部では、不動産業が▲27.3 ポイント (18.2⇒▲9.1) とマイナス化、製造業▲15.1 ポイント (▲3.8⇒▲18.9)、卸売業が▲7.2 ポイント (▲7.1⇒▲14.3) と悪化したものの、小売業が54.8 ポイント (▲54.8⇒0.0)、建設業が11.1 ポイント (▲7.4⇒3.7)、サービス業が4.4 ポイント (4.3⇒8.7) と改善しプラス水準であることから、全産業ベースの業況DIは、前回調査時の▲9.8 から▲7.3 へ2.5 ポイントの改善となった。

### 製造業

業況は、急激な原材料価格の高騰に、販売価格への転嫁が追いついてないことから、悪化している。  
今後の見通しとしては、引き続き原材料価格の上昇を見込むも、販売価格への転嫁ができない状況が続き、業況はやや悪化を見込んでいる。

#### (事業者の声)

- ・主要原材料が高騰し、利幅が圧縮されている。取引先と価格交渉をしているが価格転嫁が追いつかず、業況は厳しい。 (食料品製造)
- ・売上は減少見込みであり、材料費の高騰により利幅も圧縮されている。新型コロナウイルス関連の借入も返済予定であり経費削減を実施するなど、資金繰りを検討していく。 (家電部品製造)
- ・原材料価格が高騰しているため、経費の削減に尽力するも限界がある。 (制御盤機器設計製造)

- 原材料価格の高騰による、製造原価の増加に懸念がある。現在は、販売価格に転嫁できているが、今後更に原材料価格が高騰した場合には、対応策を検討する。  
(看板製造)
- 売上減少も季節的なものであり、例年と大差ない。但し原材料の高騰と将来的な売上の上昇・収益の確保が課題である。  
(茶製造業)

### 卸売業

業況は、新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、売上はやや増加したものの、仕入価格の高騰が収益を圧迫していることから、悪化している。

今後の見通しとしては、仕入価格は落ち着きを見せるとの予想から、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- 仕入価格の上昇に対し価格転嫁が上手く進んでおらず利幅が縮小している。  
(節類卸)
- 販売先からの値下げ要請や仕入価格の上昇など、価格交渉に苦労している。利益は確保しているが引き続き注視していく。  
(ゴム・プラスチック製品卸売)
- 円安や原油高の影響を受けている。環境問題から包装資材の簡素化が求められており、売上の増加のため、販路拡大していく。  
(包装資材卸売)
- 卸先の人材不足により廃業が相次ぐほか、高齢化による事業存続が危ぶまれ、新規顧客の開拓に迫られている。仕入れ値、燃料費高騰も収益低下の要因。  
(食料品卸売)
- 物価高騰の影響を受け、経費の増加が収益の低下につながっている。業況は無難に推移するも、新規顧客の獲得が低調であり、今後の成長に不安が残る。  
(化粧品卸、小売)
- 引続き人材確保および販路の拡大が課題として残る。  
(一般鋼材加工品卸)

### 小売業

業況は、原材料や仕入価格の高騰の影響を受けるものの価格転嫁が進んだことから、大幅に改善している。

今後の見通しとしては、販売価格への転嫁が進むものの、仕入価格の上昇に追いつかないことから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- 仕入価格の上昇により、販売価格の引き上げをしている。  
(パン製造)
- 物価高騰の影響を受けるも、価格転嫁ができており、売上は増加している。  
(洋菓子小売)
- 納車状況が改善し、売上・収益とも堅調に推移している。  
(自動車小売)
- 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴って売上が増加しており、店舗の増床を検討している。  
(化粧品販売)
- 後継者育成のために、セミナー等があれば積極的に活用したい。  
(石油販売)

### サービス業

業況は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う売上、収益の増加から、改善しプラス水準が続いている。

今後の見通しとしては、材料価格の上昇が懸念され、業況は横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- 前年に比べて売上、利益ともに増加見込み。一方、材料や部品等の価格の高騰は続いているが、収益の圧迫が懸念される。後継者がおらず、事業承継が大きな課題。  
(自動車整備)
- 売上は増加傾向にあるが、クレジットカード決済が多くなり資金回収まで時間がかかり、資金繰りが大変な時期がある。今後、現金決済が多くなるキャンペーン等を実施していく。  
(理容)
- コロナ禍で自粛していた未就園児に対するセミナー・イベントを多く開催し、園児獲得の取組みを積極的に行っている。  
(教育・保育)
- コロナ禍により売上が減少していたが、コロナ禍以前の売上高まで回復。現在は不採算直営店の廃店を進めている。  
(リラクゼーション)
- 人手不足への対策として、社内環境の向上に取り組み、人材流出を防ぎつつ新規採用をも標榜している。  
(会計処理)

## 建設業

業況は、売上、収益共に回復傾向にあることから、改善しプラス化となった。

今後の見通しとしては、人手不足や材料費の高騰から、業況は悪化しマイナス化を見込んでいる。

### (事業者の声)

- ・最新の設備を積極的に取り入れ、工期短縮、技術向上を目指している。年々、受注が増加しており、增收増益基調。  
(解体工事)
- ・コロナ禍の影響が幾分和らぎ、個人住宅建設は今後、多少活発化することが見込まれる。  
(住宅建築)
- ・今後の人員増員への対応と効率化を図るためにクラウドスケジュールシステムを入れ替えた。これにより残業時間の削減が可能となる。  
(水道設備工事)
- ・人材不足の解消、新分野展開を行う上で、M&A を有効な手段として考えており、情報収集に努めている。  
(土木・建築工事一式)
- ・閑散期の仕事確保の為に他分野（営農）への進出を標榜している。  
(土木工事)

## 不動産業

業況は、仕入価格は上昇傾向にある一方で、販売価格を据え置くも在庫は増加傾向にあり、DI はマイナス化となり大幅に悪化した。

今後の見通しとしては、コロナ禍の影響が緩和され、販売価格も持ち直すことから、業況は改善を見込んでいる。

### (事業者の声)

- ・収益が変わらない状況の中、仕入価格が上昇しやや厳しい状況が続く。また、インボイス制度開始による事務負担増加から人手不足の懸念がある。  
(不動産賃貸仲介・売買仲介・管理)
- ・消費者の不動産購入意欲はやや下がって来ているように感じられる。  
(不動産代理・仲介業)
- ・飲食業の入れ替わりが激しく、入居状況は安定していない。  
(貸事務所・ビル管理)
- ・人材(若手)、後継者、商品物件不足を課題としている。人気の物件はすぐに売れてしまい、不動産情報の収集を強化していきたい。  
(不動産)
- ・イメージアップを標榜して、より一層の広告・宣伝強化に注力していく。  
(不動産仲介)

## ■西部地区

西部では、小売業が▲9.5 ポイント (▲13.6⇒▲23.1)、卸売業が▲0.9 ポイント (▲14.3⇒▲15.2) と悪化したものの、建設業が 18.2 ポイント (▲15.6⇒2.6)、サービス業 12.0 ポイント (▲7.3⇒4.7) とプラス化、不動産業が 1.9 ポイント (▲7.7⇒▲5.8)、製造業が 1.4 ポイント (▲11.1⇒▲9.7) とやや改善したことから、全産業ベースの業況 DI は前回調査時の▲11.8 から▲9.0 へと 2.8 ポイントの改善となった。

## 製造業

業況は、主要取引先からの受注は安定していることから、やや改善となっている。

今後の見通しとしては、新規受注や半導体不足の緩和などから、業況は改善を見込んでいる。

### (事業者の声)

- ・主要取引先からの受注は安定しており、業況は堅調に推移している。  
(自動車)
- ・モデルチェンジに伴う新規受注があり、受注は増加傾向にある。  
(二輪車)
- ・円安により輸出売上高は増加傾向にある。  
(楽器)
- ・全国各地で祭りが再開され、受注は回復傾向にある。  
(繊維)
- ・原材料費及びエネルギー価格の上昇が収益を圧迫している。  
(自動車・二輪車・機械他)
- ・従業員の高齢化や人材不足が懸念となっている。  
(機械)

## 卸売業

業況は、仕入価格の高止まりや円安が続き収益を圧迫しているなどから、ほぼ横ばいである。

今後の見通しとしては、大幅な売上の増加は見込めないことなどから、業況は横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍以降、価格競争が激しく、利益が圧迫されている。 (野菜)
- ・物価上昇するも価格転嫁しきれず業況は厳しい。 (衣服他)
- ・コロナ禍で低迷していた需要が回復してきた。 (衣類ほか)
- ・木材加工設備を導入し、今後の売上増加を期待している。 (建築木材)
- ・仕入価格の上昇分を価格転嫁できており、業況は堅調に推移している。 (塗料)

**小売業**

業況は、売上や収益の減少などから、悪化している。

今後の見通しとしては、年末商戦に向けた営業活動により売上、収益の増加から、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・生産コスト上昇に加え、猛暑による障害も発生している。 (生花)
- ・価格転嫁に苦慮している。 (菓子・茶・生活用品・食品他)
- ・売上は増加しているが、仕入価格も上がっているため、収益は改善していない。 (ガス)
- ・利益率の高い自社PB商品の拡充と販路拡大により、収益改善を図っている。 (食品)
- ・エネルギー価格の上昇により、節約関連の商品が好調である。 (家電)
- ・新型車の日本発売が噂されており、売上の増加を期待している。 (自動車)

**サービス業**

業況は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、売上は増加傾向となっていることから、改善しプラス化となった。

今後の見通しとしては、スポーツ関連の大会やイベントなどが開催されることにより、売上の増加が期待できることから、業況は改善し、引き続きプラス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、宿泊客は増加傾向。 (宿泊)
- ・夏季休暇で、家族層の顧客が増加した。 (レジャー)
- ・個人客の増加で、団体客の減少をカバーしている。 (飲食)
- ・仕入値の高騰でメニューの値上げを実施した。売上の減少を懸念している。 (飲食)
- ・人手不足を背景に人件費が増加している。 (宿泊)

**建設業**

業況は、公共、民間とも工事の受注は順調に推移していることから、改善しプラス化となった。

今後の見通しとして、売上、受注、施工高は順調に推移していることから、業況はやや改善し、引き続きプラス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・工場建設など大型の案件が控えており、業況は順調に推移している。 (総合建設)
- ・年間を通じた受注・売上の見通しが立っている。 (土木・建築)
- ・公共工事の受注は堅調であるが、人材の不足感は続いている。 (土木)
- ・完工高は増加しているが、材料費の高騰により利益は減少している。 (一般建築)
- ・案件は増加しているが、人材不足により対応できない状況になっている。 (土木・建築)

**不動産業**

業況は、個人の賃貸物件の入居率は安定的に推移し、商業テナントについても動きが出てきたことから、やや改善している。

今後の見通しとしては、コロナ禍からの回復による商品土地の流通増加などから、業況はやや改善を見込んでいく。

(事業者の声)

- ・不動産取引が活発化しており、前期を上回る水準で推移している。 (不動産仲介)
- ・個人住宅の需要は増加傾向、資材高騰のため中古住宅に人気が出ている。 (不動産仲介)
- ・賃貸物件の入居率に変化なく、賃貸収入は安定している。 (不動産賃貸)
- ・営業活動を強化したいが、人員不足により満足な活動ができていない。 (不動産仲介)
- ・商品土地の引き合いはあるが成約に至らず、販売価格の引き下げも検討している。 (不動産仲介・斡旋)

[お問い合わせ先]

(一社) 静岡県信用金庫協会

電話 : 054-255-5530

資料 1

1. 業況(全業種)

	今回調査(2023年7~9月期)						前回調査(2023年4~6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	3.0%	15.4%	47.2%	23.3%	11.1%	▲ 16.0	4.1%	15.1%	44.0%	28.3%	8.5%	▲ 17.6
中部地区	3.4%	15.7%	54.5%	19.1%	7.3%	▲ 7.3	2.2%	14.7%	56.5%	20.7%	6.0%	▲ 9.8
西部地区	1.5%	16.1%	55.7%	21.4%	5.3%	▲ 9.0	2.2%	16.1%	51.6%	24.5%	5.6%	▲ 11.8
県内合計	2.3%	15.8%	52.9%	21.6%	7.4%	▲ 10.9	2.8%	15.6%	50.0%	25.1%	6.5%	▲ 13.2

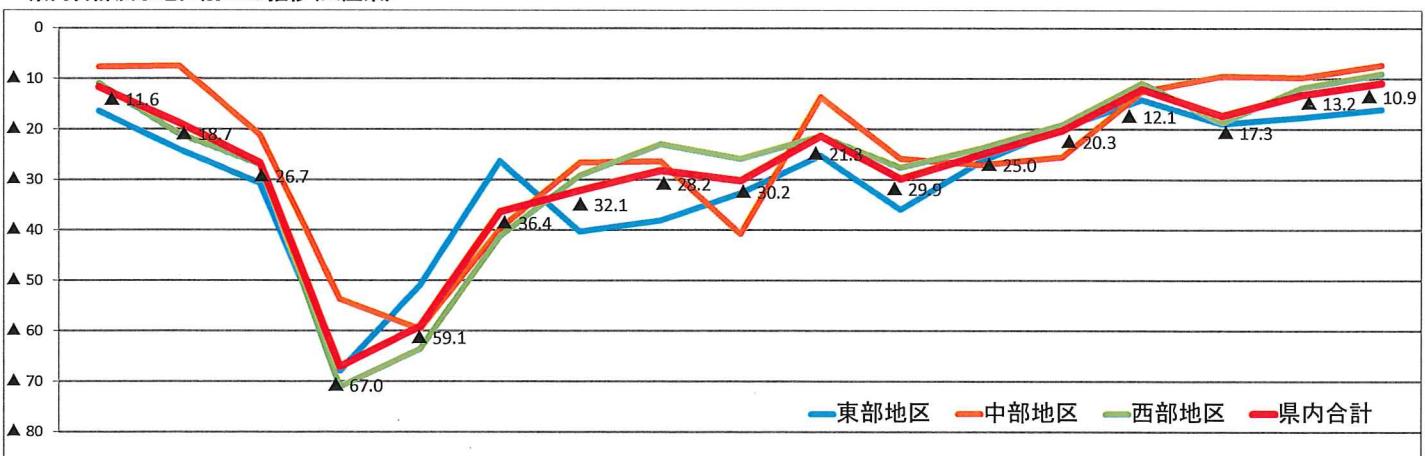
2. 業況予想(全業種)

	2023年10月~12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	2.2%	17.4%	45.9%	26.4%	8.2%	▲ 14.9
中部地区	2.8%	11.6%	62.4%	18.8%	4.4%	▲ 8.8
西部地区	1.2%	15.3%	61.1%	18.3%	4.0%	▲ 5.7
県内合計	1.8%	15.4%	56.6%	20.9%	5.4%	▲ 9.0

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2019年 7~9月期	2019年 10~12月期	2020年 1~3月期	2020年 4~6月期	2020年 7~9月期	2020年 10~12月期	2021年 1~3月期	2021年 4~6月期	2021年 7~9月期	2021年 10~12月期	2022年 1~3月期	2022年 4~6月期	2022年 7~9月期	2022年 10~12月期	2023年 1~3月期	2023年 4~6月期	2023年 7~9月期
	東部地区	▲ 16.3	▲ 24.0	▲ 30.6	▲ 67.0	▲ 50.9	▲ 26.2	▲ 40.2	▲ 38.0	▲ 32.7	▲ 25.1	▲ 35.9	▲ 26.4	▲ 19.6	▲ 14.1	▲ 18.9	▲ 17.6
中部地区	▲ 7.6	▲ 7.4	▲ 21.1	▲ 53.7	▲ 59.6	▲ 39.7	▲ 26.6	▲ 26.4	▲ 40.8	▲ 13.6	▲ 25.8	▲ 27.0	▲ 25.6	▲ 12.5	▲ 9.4	▲ 9.8	▲ 7.3
西部地区	▲ 10.9	▲ 20.9	▲ 26.9	▲ 71.0	▲ 63.6	▲ 41.3	▲ 29.1	▲ 23.0	▲ 25.9	▲ 21.3	▲ 27.5	▲ 23.7	▲ 19.1	▲ 10.9	▲ 18.7	▲ 11.8	▲ 9.0
県内合計	▲ 11.6	▲ 18.7	▲ 26.7	▲ 67.0	▲ 59.1	▲ 36.4	▲ 32.1	▲ 28.2	▲ 30.2	▲ 21.3	▲ 29.9	▲ 25.0	▲ 20.3	▲ 12.1	▲ 17.3	▲ 13.2	▲ 10.9

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2

・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2023年7~9月期)						前回調査(2023年4~6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.0%	19.0%	40.0%	24.8%	15.2%	▲ 20.0	4.8%	12.5%	45.2%	27.9%	9.6%	▲ 20.2
卸売業	0.0%	13.9%	41.7%	30.6%	13.9%	▲ 30.6	2.7%	24.3%	37.8%	24.3%	10.8%	▲ 8.1
小売業	4.8%	13.1%	44.0%	21.4%	16.7%	▲ 20.2	6.2%	12.3%	32.1%	37.0%	12.3%	▲ 30.9
サービス業	6.0%	14.0%	50.0%	22.0%	8.0%	▲ 10.0	2.0%	14.3%	44.9%	32.7%	6.1%	▲ 22.4
建設業	3.3%	13.3%	56.7%	25.0%	1.7%	▲ 10.0	5.1%	16.9%	49.2%	22.0%	6.8%	▲ 6.8
不動産業	2.9%	17.6%	61.8%	14.7%	2.9%	2.9	0.0%	17.6%	64.7%	17.6%	0.0%	0.0
全業種	3.0%	15.4%	47.2%	23.3%	11.1%	▲ 16.0	4.1%	15.1%	44.0%	28.3%	8.5%	▲ 17.6

2. 中部地区

	今回調査(2023年7~9月期)						前回調査(2023年4~6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.9%	17.0%	43.4%	22.6%	15.1%	▲ 18.9	1.9%	15.1%	62.3%	15.1%	5.7%	▲ 3.8
卸売業	0.0%	10.7%	64.3%	25.0%	0.0%	▲ 14.3	3.6%	21.4%	42.9%	17.9%	14.3%	▲ 7.1
小売業	4.0%	20.0%	52.0%	20.0%	4.0%	0.0	0.0%	3.2%	38.7%	51.6%	6.5%	▲ 54.8
サービス業	8.7%	13.0%	65.2%	13.0%	0.0%	8.7	0.0%	13.0%	78.3%	8.7%	0.0%	4.3
建設業	7.4%	22.2%	44.4%	11.1%	14.8%	3.7	7.4%	14.8%	48.1%	22.2%	7.4%	▲ 7.4
不動産業	0.0%	9.1%	72.7%	18.2%	0.0%	▲ 9.1	0.0%	22.7%	72.7%	4.5%	0.0%	18.2
全業種	3.4%	15.7%	54.5%	19.1%	7.3%	▲ 7.3	2.2%	14.7%	56.5%	20.7%	6.0%	▲ 9.8

3. 西部地区

	今回調査(2023年7~9月期)						前回調査(2023年4~6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.2%	16.9%	54.1%	20.5%	7.3%	▲ 9.7	1.8%	18.1%	49.1%	24.4%	6.6%	▲ 11.1
卸売業	1.3%	17.7%	46.8%	29.1%	5.1%	▲ 15.2	1.3%	18.2%	46.8%	28.6%	5.2%	▲ 14.3
小売業	0.0%	7.7%	61.5%	23.1%	7.7%	▲ 23.1	1.5%	19.7%	43.9%	25.8%	9.1%	▲ 13.6
サービス業	0.0%	23.3%	58.1%	18.6%	0.0%	4.7	0.0%	17.1%	58.5%	22.0%	2.4%	▲ 7.3
建設業	5.3%	18.4%	55.3%	19.7%	1.3%	2.6	5.2%	9.1%	55.8%	26.0%	3.9%	▲ 15.6
不動産業	1.9%	9.6%	71.2%	17.3%	0.0%	▲ 5.8	3.8%	5.8%	73.1%	17.3%	0.0%	▲ 7.7
全業種	1.5%	16.1%	55.7%	21.4%	5.3%	▲ 9.0	2.2%	16.1%	51.6%	24.5%	5.6%	▲ 11.8

4. 県内合計

	今回調査(2023年7~9月期)						前回調査(2023年4~6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.2%	17.4%	49.9%	21.7%	9.8%	▲ 12.9	2.5%	16.6%	49.7%	24.1%	7.2%	▲ 12.3
卸売業	0.7%	15.4%	49.0%	28.7%	6.3%	▲ 18.9	2.1%	20.4%	43.7%	25.4%	8.5%	▲ 11.3
小売業	2.9%	12.1%	51.7%	21.8%	11.5%	▲ 18.4	3.4%	13.5%	37.6%	35.4%	10.1%	▲ 28.7
サービス業	4.3%	17.2%	56.0%	19.0%	3.4%	▲ 0.9	0.9%	15.0%	56.6%	23.9%	3.5%	▲ 11.5
建設業	4.9%	17.2%	54.0%	20.2%	3.7%	▲ 1.8	5.5%	12.9%	52.1%	23.9%	5.5%	▲ 11.0
不動産業	1.9%	12.0%	68.5%	16.7%	0.9%	▲ 3.7	1.9%	13.0%	70.4%	14.8%	0.0%	0.0
全業種	2.3%	15.8%	52.9%	21.6%	7.4%	▲ 10.9	2.8%	15.6%	50.0%	25.1%	6.5%	▲ 13.2

### 資料 3

#### ・業種別予想

##### 1. 東部地区

	2023年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.0%	21.9%	40.0%	29.5%	7.6%	▲ 14.3
卸売業	0.0%	21.6%	43.2%	32.4%	2.7%	▲ 13.5
小売業	1.2%	15.5%	46.4%	22.6%	14.3%	▲ 20.2
サービス業	2.1%	6.3%	33.3%	45.8%	12.5%	▲ 50.0
建設業	3.3%	16.7%	60.0%	16.7%	3.3%	0.0
不動産業	8.8%	20.6%	58.8%	8.8%	2.9%	17.6
全業種	2.2%	17.4%	45.9%	26.4%	8.2%	▲ 14.9

##### 2. 中部地区

	2023年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.0%	13.2%	52.8%	28.3%	5.7%	-20.8
卸売業	0.0%	14.3%	60.7%	25.0%	0.0%	▲ 10.7
小売業	0.0%	10.7%	75.0%	10.7%	3.6%	▲ 3.6
サービス業	8.7%	8.7%	73.9%	8.7%	0.0%	8.7
建設業	7.4%	14.8%	48.1%	14.8%	14.8%	▲ 7.4
不動産業	4.5%	4.5%	77.3%	13.6%	0.0%	▲ 4.5
全業種	2.8%	11.6%	62.4%	18.8%	4.4%	▲ 8.8

##### 3. 西部地区

	2023年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.9%	16.6%	59.2%	18.1%	5.1%	▲ 5.7
卸売業	1.3%	13.9%	54.4%	26.6%	3.8%	▲ 15.2
小売業	0.0%	7.7%	66.2%	18.5%	7.7%	▲ 18.5
サービス業	0.0%	21.4%	69.0%	9.5%	0.0%	11.9
建設業	3.9%	19.7%	56.6%	18.4%	1.3%	3.9
不動産業	1.9%	7.7%	76.9%	13.5%	0.0%	▲ 3.8
全業種	1.2%	15.3%	61.1%	18.3%	4.0%	▲ 5.7

##### 4. 県内合計

	2023年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.8%	17.4%	54.4%	21.7%	5.7%	▲ 9.2
卸売業	0.7%	16.0%	52.8%	27.8%	2.8%	▲ 13.9
小売業	0.6%	11.9%	58.2%	19.2%	10.2%	▲ 16.9
サービス業	2.7%	12.4%	54.9%	24.8%	5.3%	▲ 15.0
建設業	4.3%	17.8%	56.4%	17.2%	4.3%	0.6
不動産業	4.6%	11.1%	71.3%	12.0%	0.9%	2.8
全業種	1.8%	15.4%	56.6%	20.9%	5.4%	▲ 9.0